

## 「20年前の水」

10/30(木)5年生が校外学習へ行きました。

最初は、北杜市長坂町のオオムラサキセンターです。国蝶のオオムラサキを1年を通して観察できます。今の時期は越冬前の4令幼虫で、2cmほどの大きさの幼虫がエノキの葉についています。葉っぱについているときは、体の色が緑色なのですが、落ち葉に隠れる越冬時は茶色に変化するそうです。秋の日差しと少し冷たい空気の中、子どもたちは木々の間を歩いて幼虫を探していました。

午後からは白州町のサントリー天然水工場の見学です。この工場は、西小のある楡形西地区同様ユネスコエコパークの中にあり、南アルプスの山々にしみ込んだ天然水の工場です。森を含めた敷地は広く、工場の中に入るとその広さと大きな機械にびっくり。そして、今飲むことができる『天然水』は20年前に降った雨が南アルプスで磨かれたものとのこと。(子どもたちが生まれるずっと前です。)全国に『天然水』の産地は4か所あり、それぞれラベルのデザインも違うとのこと。

今回、見学した場所は、どちらも自然豊かな場所での施設です。オオムラサキを守ったり、研究したりする場所、南アルプスの山々に磨かれた名水の場所。5年生は『環境』をテーマに総合の学習を進めていきます。

